

大型車の直接視界基準について（UN-R167 関係）

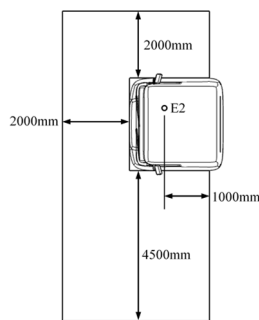
● 適用範囲

- 専ら乗用の用に供する自動車であって乗車定員 10 人以上のもの及び貨物の運送の用に供する車両総重量 3.5 t 超の自動車（二輪自動車、側車付二輪自動車、三輪自動車、カタピラ及びそりを有する軽自動車並びに被けん引自動車を除く。）

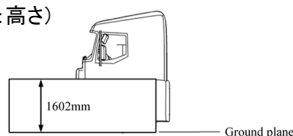
● 改正概要

- 新たな国連協定規則として「大型車の直接視界に係る協定規則（UNR-R167）」が、国連自動車基準調和世界フォーラム（WP. 29）において合意されたことを踏まえ、今般、同新国連協定規則を導入する国内基準の改正を行う。
- 大型車の運転視界について、運転者席から『直接』視認できる近傍の視界の量（体積）を一定以上確保できるように、運転者席を設計しなければならないこととする。

（上面図：面積）

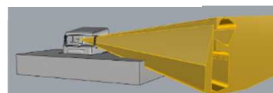


（側面図：高さ）

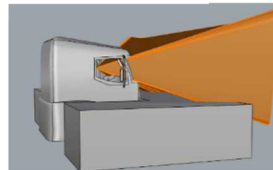


<評価範囲>

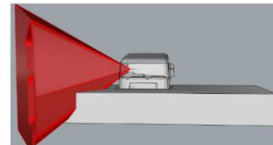
（助手席側）



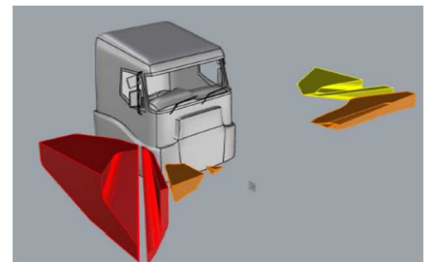
（前方）



（運転席側）



（総体積）



<評価体積（例）>

	最小体積（m ³ ）		
	カテゴリ 1 ※	カテゴリ 2 ※	カテゴリ 3 ※
運転席側体積	3.4	—	—
前方体積	1.8	1.0	1.0
助手席側体積	2.8	—	—
総体積	11.2	8.0	7.0

※ 都市部走行頻度が多い車両の規定値を厳しくすることを念頭に、車両総重量、車軸数、出力、運転席（キャブ）形状等により分類

<規定値>

- 改正時期（予定）： 令和5年6月上旬
- 適用時期（予定）： 【新 型 車】令和8年1月
【継続生産車】令和11年1月